

## 映画の小箱

家族、夫婦、恋人、人は幸せを求め続けて生きていく——男女11人の生き様を描いたヒューマン・ドラマ。豪華スター競演による見ごたえのある作品だ。

『マイ・ハート、マイ・ラブ』 金丸弘美=文  
text by Hiromi Kanamaru

# 11人11通りの愛の形…、そしてクライマックスの愛!

まるで宝石箱に入れた色とりどりの宝石のようだ。人生のさまざまな愛のありかたが詰まっている。どれもが個性的に輝き光彩を放っている。輝きは年代によって異なり、きらきらとするものもあれば、憂いがあるものもあり、深く静かに光るものもありと、いくつもの美しさがある。

人にはそれぞれの歩む愛があり、美しいものだと教えてくれる。ここに登場する、いくつもの人生のどこかの場面で、それぞれの愛の形に共鳴し、ときに自分の人生に重ね合わせ、歩いた道を振り返るに違いない。そしてどんな愛も、いとおいしく人生そのものだと感じることだろう。

登場するのは、十一人の男女。みんなが自分の愛を探している。

ジョーン（アンジェリーナ・ジョリー）はキュートで可愛い。だけどいつもふられてばかり。デイスコで別れた男に電話で怒鳴っていて、コインが足りなくなり、近くにいたキーン（ライアン・フィリップ）からコインを借りたのが、知り合うきっかけ。ジョーンは派手な服や、言葉で自分を精一杯表現する。それは寂しさの裏返しのようなのだ。でもキーンは、あまり喋らず、自分のことを語りたがらない。デートもしない主義だという。彼はジョーンとは違い、自分を出しすぎることで傷つくことを恐れているような慎重派だ。

グレイシー（マデリン・ストウ）は、牧師のロジャー（アンソニー・エドワーズ）と浮気をしている。グレイシーは結婚十五年目だが子供はなく、夫との関係は冷え切っている。ロジャーはグレイシーを愛し始めたが、グレイシーは肉関係だけが健全であれば、それ以上の関係をもたたくないと、クールに振る舞っている。

ヒュー（デニス・クエイド）は、夜バーに

出かける。バーで知り合った女性に話しかけ、

自分の不幸を語り始める。それはあるときは妻の死であり、あるときは妻の浮気。話はどうやら毎回創作らしい。その話で、

見も知らぬ女性に同情され、相手が話ののってくれることに快感を感じている。舞台演出をしているメレディス（ジリアン・アンダーソン）は、離婚歴があり、いまは犬と暮らしている。知り合った建築家トレント（ジョン・スチュアート）に、デートに誘われたが、素直に従えない。ある日彼を家の食事に招待したが、自意識過剰な、そしてまた新しい恋愛に不安な彼女は、彼の行動を先々まで考えてしまい、「今日は食事だけで、それ以上は求めないで」などと、口走り、トレントを怒らせてしまった。

マーク（ジェイ・モア）はエイズで死期が迫っている。母親ミルドレッド（エレン・バースティン）は、悲嘆にくれる。彼女はなんとか息子をいたわろうと言葉を探すが、マークに「もう本当の言葉で話そう」と言われ、

マークの子供時代のことや、夫のこと、今まで胸にしまっていたことを息子に語り始めた。



# ローヤルゼリー 進化論

高品質ローヤルゼリー

+

アガリクス茸

JRJの高品質ローヤルゼリーに、注目されるアガリクス茸を配合。それが進化したローヤルゼリー、JRJスプリウムローヤルゼリーAGです。

若い働き蜂の咽頭線から分泌されるローヤルゼリー。女王蜂はこのローヤルゼリーだけを食べ、体長は働き蜂の2倍から3倍、寿命は働き蜂の1か月に比べ、3年から5年と長生きします。そして、生涯、毎日2,000個から3,000個の卵を産み続けます。この生命力の源がローヤルゼリーです。

JRJスプリウムローヤルゼリーAGは、最高品質のローヤルゼリーに「奇跡のキノコ」として世界的に注目されるアガリクス茸を配合。より積極的に健康を考える皆様にお応えしています。ぜひ毎日の栄養補給、健康維持にお役立てください。



JRJスプリウムローヤルゼリーAG

調製ローヤルゼリー

60粒 ¥35,000 / 150粒 ¥70,000 (消費税別)

健康しつかり。



ジェーアルジェ株式会社

本社：東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル17階  
TEL.03-3345-2888 〒163-0517



ロサンゼルス郊外で暮らすTVプロデューサーのポール(ショーン・コネリー)と、料理研究家のハンナ(ジーナ・ローランズ)は、結婚四十周年。周囲からは、もつとも仲のいい夫婦とみられている。しかし、ハンナはポ

ールが過去にテレビで知り合った若い女性と付き合ったことがあり、その子とどうなったのか、それが今もって気になって仕方ない。もう過去のこととはいえ、それを考えると、夜も眠れないほどだ。ハンナは夫に、彼女との関係の真相を迫ることになる。

人それぞれに抱える愛のありかたは、こんなに多様なのかとあらためて驚いてしまう。相手を思いやるあまり相手を傷つけたたり、相手の気を引こうとしてそれが裏目になり、嘘の愛が本当に感じられたり、理解していると思っていたのが違っていたり、愛の知識はたくさんあるのに現実ではつまずいたり、だれもが愛のドラマを持っている。若いときは若い年の、結婚すれば結婚した年の、年をとれば年をとったで、愛の表情と表現は、実に豊かだ。その愛の心理は、共感できるところが必ず一つはある。

十一の愛の行方が交互に同時に進行して行き、やがて一人一人の愛のドラマがくつきりと浮かび上がっていく。あっと驚くのは、最後に、十一人をつなぐ大きな愛が待ち受けているのである。

## 『マイ・ハート、マイ・ラブ』PLAYING BY HEART

(1999年 アメリカ映画 ギャガ・ヒューマックス共同配給)

監督=ウィラード・キヤロル

出演=ショーン・コネリー、マデリーン・ストウ、アンジェリーナ・ジョリー、ライアン・フィリップ、ジーナ・ローランズ、デニス・クエイド、エレン・バースティン、ジリアン・アンダーソン